

名古屋市立大学医学 FD “診療参加型臨床実習とは”にご参加の皆さまへ

この度は、2020年7月30日と8月3日に同内容で行いましたFDにご参加頂き有り難うございました。また、小テストにご回答を頂き有り難うございました。以下はその解答と解説でございます。

診療参加型臨床実習 FD 小テスト

Q1. 診療参加型臨床実習のゴールとして、適切でないのはどれか。

- a. 患者を診察し病歴と身体所見がとれる
- b. Common な臨床的プロブレムに対応できる
- c. 上級医の指導の下に適切な臨床判断ができる
- d. 受け持ち症例のプレゼンテーションができる
- e. 診療に必要な情報を自分で収集できる

正解 c.

解説 診療参加型臨床実習のゴールは

1. Common なクリニカルプロブレムへの対応ができる
2. 同じような状況で、一人でも正しい思考プロセスで判断できる

です。上級医の指導がなくても、common なクリニカルプロブレムに対して、適切な臨床判断ができることを目指しています。

Q2. 診療参加型臨床実習の学生にさせる課題として有用性が低いのはどれか。

- a. 検査方針の策定
- b. 検査法の選択
- c. 検査への付き添い
- d. 検査手技の修得
- e. 検査結果の解釈

正解 d.

解説 診療参加型臨床実習の中で重視すべき学習課題としては、①症例プレゼンテーション、②診断の仕方（臨床推論）、③病歴と身体所見の取得、④検査結果の解釈、⑤コミュニ

ケーション、⑥治療方針の決定などが挙げられており、逆に、高度な治療手技、検査手技、治療手技などは学習課題としての優先順位がそれよりも低いと考えられています。

また、診療参加型臨床実習における学生の役割として、コミュニケーションや信頼関係の構築法の修得を目的に、受け持ち患者さんの他科受診、リハビリテーション、検査などの予定を把握し、必ず付き添うように指導することが推奨されています。

Q3. 診療参加型臨床実習における学生の指導方法として誤っているのはどれか。

- a. 学生のレベルに応じて診療活動の一部を任せる
- b. 正解を教えるよりも尋ねることが有用である
- c. 正解がえられたときはなぜそうなのかを尋ねる
- d. 正解が得られないときは直近の研修医に答えさせる
- e. 学生の指導は指導医が直接行う必要がある

正解 e.

解説 診療参加型臨床実習は、患者・医療スタッフを相手にした実践学習 On-the-Job Training ですので、学生が学ぶ相手は患者さんならびに医師、看護職などの診療スタッフ全員です。したがって、学生の指導は指導医だけが直接行うという考え方ではありません。

一方、診療参加型臨床実習における学生の指導は、学生の“学習ニーズが高いときに学習機会を与える”ことを重視しています。したがって、受け持ち患者を担当させる、教えるよりも尋ねる、正解が得られても理由を尋ねる、分からない時は直近の上級生や研修医から、という指導方法が推奨されています。

出題と解説（医学・医療教育学分野、早野順一郎）